

絨毛癌・流産の治療および分娩目的に当院に入院・通院されていた

患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力のお願い

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、阪埜 浩司までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

2000年1月から2012年12月に慶應義塾大学病院産婦人科において子宮摘出術を施行し、病理組織学的診断で絨毛癌と診断された患者の方。対照として同時期に進行流産と診断され子宮内容除去術を受けた患者ならびに分娩中に胎児徐脈を認め梗塞巣の有無を精査するため娩出後の胎盤を病理学的検査に提出した患者の方。

2 研究課題名

絨毛癌発癌における糖鎖構造とその機能変化に関する後方視的検討

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部 産婦人科

4 本研究の意義、目的、方法

本研究は、慶應義塾大学医学部産婦人科で行っている研究です。目的は、絨毛癌発癌機序に糖鎖構造とその機能異常がどの程度関連しているのかを調べることです。未だ明らかとなっていない絨毛癌の発癌機序を解明することを目指しています。

5 協力をお願いする内容

- ・手術時に摘出した組織の提供をお願いします。
- ・症状を正確に把握するため、診療録を閲覧し、年齢・臨床データ・検査データなどを調べます

6 本研究の実施期間

西暦2013年 7月 1日～ 2013年 10月 30日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名・年齢・患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。

- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 阪埜浩司／小林佑介／増田健太

連絡先：〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 電話番号 03-5363-3819

以上